

ハンセン病資料館見学と春の全生園を散策

入居者が植えた人権の森を訪ねる



ハンセン病資料館（左） 学芸員より説明を受ける参加者（右）

国立ハンセン病資料館は、東村山市の全生園（ハンセン病患者の隔離施設だった）の一角にあり、ハンセン病や長く隔離されてきた患者さんたちの歴史を伝える貴重な場所となっています。当日は、東村山市役所職員による「国立療養所多磨全生園将来構想」のお話を伺い、その後学芸員とともに全生園を散策し園内で昼食。午後は資料館のガイダンスと館内の見学、現地解散 14 時を予定しています。【定員 15 名】

2026 年 **3 月 27 日（金）**

J R 武蔵野線「新秋津」駅 改札 9：20 集合

※資料館までは徒歩約 25 分、解散は現地 14 時を予定

参加費：2,700 円 ※昼食代、保険料を含みます

持ち物：飲み物、帽子、歩きやすい服装でご参加ください。

●お申し込み・問い合わせ先



特定非営利活動法人 大人の学校

333-0857 川口市小谷場 206 生活クラブ生協内

TEL/FAX 048-423-3313

メール otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp